

## ダイバーシティレポート制度(試行)を実施します

11月の全学教員人事委員会において、ダイバーシティレポート制度(試行)が了承されました。弘前大学における女性研究者採用のいっそうの促進を図る目的から、すべての教員公募(女性限定公募を除く)について、人事選考過程を男女共同参画の観点からレポートするものです。制度要項には、選考委員長の研究者採用ガイド等による研修についても盛り込まれました。研究者採用ガイドは、採用時の無意識の偏見への対策の1つとして北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議が作成したもので、男女共同参画推進室ウェブサイトでも公開しています。

### レポート実施者

公募部局がダイバーシティオブザーバーかダイバーシティオフィサーのいずれかを決定  
 ○ダイバーシティオブザーバー：学系長、領域長、選考委員長など  
 ○ダイバーシティオフィサー：男女共同参画推進室長が任命した男女共同参画推進室員(性別・分野は問わない)

### レポート内容

選考委員の男女内訳、公募に対する男女別応募状況と女性の応募促進の取組状況、男女共同参画の関連からの書類・面接選考状況など

### 試行期間

平成30年度末まで



## お知らせ 託児利用料補助事業・女性職員施設について

女性職員休養室(文京町地区)や女性医師支援室(本町地区)の利用方法、平成30年度の各種託児利用料補助などについて、男女共同参画推進室ウェブサイトでご案内しています。トップページの左側(赤い枠線部分)からぜひご確認ください。

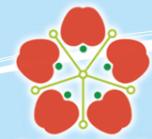


トップページ	新着情報
男女共同参画推進室とは	2018 02/08 大学の男女比率の現状(2017年5月現在)を更新しました
あいきつ	2018 01/25 「LGBTについて知ろう 話そう 第2弾」学生対象研修会を開催しました
宣言・行動計画	2018 01/25 平成29年度北東北国立3大学連携推進会議男女共同参画シンポジウムが開催されました
推進体制・メンバー	2018 01/25 女性研究者懇談会を開催しました
ポスター・ロゴマーク	2018 01/15 【参加学生募集】株式会社ミクニ「業界研究会」開催のお知らせ
ニュース	2018 01/15 【1/18～募集】平成30年度弘前大学子育て・介護中の研究者支援制度
支援について	2017 12/26 平成29年度「研究リーダー力向上支援セミナー」を開催しました
学内保育園(ひろだい保育園)	2017 12/26 【学内限定】「研究リーダー力向上支援セミナー」の動画をアップしました
子育て・介護中の研究者支援制度	2017 12/01 【開催日1/19】「LGBTについて知ろう 話そう 第2弾」学生対象研修会の開催について
面接時の交通費支援	2017 11/16 【開催日2018/1/10】シンポジウム「北東北の創生とダイバーシティ」開催のお知らせ
病児・病後児保育利用料補助事業(試行)	
学会参加時の託児利用料補助事業	
休日勤務時託児利用料補助事業(試行)	
子育て中の教職員に対する駐車許可証発行	
女性職員休養室・女性医師支援施設	
イベント	
講演会・セミナー	
さんかくつうしん	

弘前大学は、平成21年8月に男女共同参画を宣言し、同年10月に男女共同参画推進室を設置しました。男女共同参画の理念の学内外へ

2018年3月発行

弘前大学男女共同参画推進室



あおり女性の活躍応援宣言企業  
平成29年2月に登録されました。

# さんかくつうしん

Newsletter Vol.18

## 北東北女性研究者 研究・交流フェア2017をホストしました

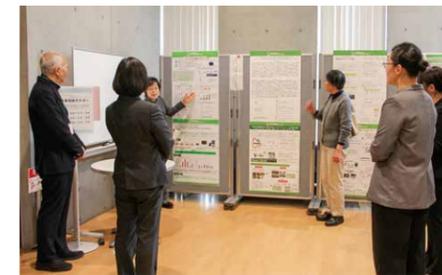
平成29年9月15日、弘前駅前公共施設ヒロロスクエアにおいて、弘前大学と北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議の主催により「北東北女性研究者 研究・交流フェア2017」が開かれました。昨年度から岩手大学を代表機関として本学が参加する文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として行われたものです。

第1部では、女性研究者を研究代表者とする共同研究についてステージで発表が行われ、続いて、ポスターセッションでは共同研究紹介21件、一般研究紹介19件、機関紹介15件の出展がありました。第2部のロールモデル講演会では、松八重一代先生(東北大学大学院環境科学研究科教授)と青山千春先生(東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門准教授)からご自身の研究やプライベートを踏まえたご講演をいただきました。

100名近くの参加があり、参加者アンケート(回答数51)では、第1部について8割以上から「大変有意義だった」「有意義だった」、第2部については9割以上から「大変有意義だった」「有意義だった」との評価で好評でした。「異分野の研究交流は有意義」や「研究者、人生の先輩として勇気をいただいた」等の感想も寄せられました。



## シンポジウム「北東北の創生とダイバーシティ」が開催されました



1月10日、岩手大学復興祈念銀河ホールにおいて、岩手大学と北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議の主催によりシンポジウム「北東北の創生とダイバーシティ」が開催されました。「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として、女性研究者支援を含むダイバーシティ推進、男女共同参画の意義や連携のあるべき姿等について考える場として企画されたものです。

前半では、伊藤賢氏(文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長(当時))による特別講演「研究環境のダイバーシティ実現に向けて— 科学技術・学術分野における女性の活躍促進 —」、日高乃里子氏(帝人株式会社人財部ダイバーシティ推進室長)による基調講演「帝人におけるダイバーシティ推進の取組み」に続き、岩手大学の菅原悦子理事・副学長による事業紹介「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」が行われました。

後半は、本学の佐藤敬学長のほか、岩手大学長や八戸工業高等専門学校長をはじめとする連携6機関の代表者、基調講演講師、計7名が登壇し、パネルディスカッション「北東北のダイバーシティ実現を目指して」が行われました。各機関の取組状況の発表やリーダーとしてのコミットメント等について意見がかわされました。最後に、ダイバーシティを実現するための研究環境を整備すること等3つ

の具体的取組を定めた6機関長による「ダイバーシティ研究環境実現のための共同宣言」が岩手大学長から読み上げられました。(共同宣言全文はこちら<http://gender.iwate-u.ac.jp/diversity/807>からご覧ください。)

なお、会場ロビーでは、あおりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク紹介や女性研究者を代表者とする共同研究紹介等のポスターも掲示され、本学からは柿崎育子准教授(医学研究科)と堀江香代助教(保健学研究科)がポスター発表をされました。

## 女性研究者懇談会を開催しました

平成29年12月13日、創立50周年記念会館会議室1において女性研究者懇談会を開催しました。分野や職階、ライフステージ等異なる本学の女性研究者間のネットワーク構築を支援するとともに、女性研究者の生の声を聴き今後の事業にいかしていくことを目的としたものです。女性教員12名のほか、佐藤敬学長、大河原隆理事、日景弥生男女共同参画推進室長が参加しました。

当日は、本学の子育て・介護に係る支援策が着任の決断の後押しになった、支援策について積極的に情報発信を行うことが女性教員の応募促進につながるのではないか、所属学科の上位職階に女性がいないためキャリアパスがみえず不安だ等の発言があり、ランチをとりながら活発に情報・意見交換が行われました。

参加者からは、「学内の他分野の女性研究者と面識や交流をもてよかった」「先輩教員からアドバイスをもらえて勇気づけられた」等の感想が寄せられました。



## 研究リーダー力向上支援セミナーを開催しました



12月15日、創立50周年記念会館岩木ホールにおいて研究リーダー力向上支援セミナー「組織内オープンイノベーションを促進するプロジェクトマネジメント」を開催しました。本セミナーは、「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として行われたものです。

講師には、昨年度に引き続き富田欣和先生(慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科講師)をお招きし、組織内の多様性を活かすための組織内オープンイノベーション促進のヒント、教員・研究員・バックオフィスメンバーの人材育成の構造、チームメンバーの創造性を高めるクリエイティブ・コンフィデンスの醸成等についてご講演をいただきました。

連携機関の関係者を含む約20名が参加し、参加者アンケート(回答数17)では、すべての方から「大変参考になった」「参考になった」との評価をいただきました。また、「社内でも研修を行ったりしているが、内容が今回のものは最先端と感じた」「実践に役立つ」「分野を問わずに参考になる話だったと感じた」等の感想も寄せられました。

セミナーの動画は、男女共同参画推進室ウェブサイトから、学内に限定公開しています。ぜひご覧ください。

## さんかくカフェ 第2回 WLBやキャリア形成をテーマにさんかくカフェを開催しました

平成29年11月7日、今年度2回目となる「さんかくカフェ」を医学部附属病院第2病棟看護部研修室で開催しました。「さんかくカフェ」は、弘前大学の教職員や学生である参加者同士がお茶を飲みながら語り合うことをとおして、男女共同参画実現に向けたよりよい支援のあり方を考え、参加者同士のネットワーク構築を支援するものです。

26名が参加し、「性別やライフステージにかかわらず働きやすく学びやすいこれからの弘大～ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成～」をテーマに、子育て・介護に関する本学の休暇・休業制度に関する人事課担当者からの説明の他、ワーク・ライフ・バランスやキャリアの形成の現状や希望する支援策等についてグループでの情報・意見交換を行いました。今回は、岩手大学の佐藤淑恵ワーク・ライフ・バランス/キャリア相談員にもご参加をいただきました。

参加者アンケート(回答数22)では1人を除き「大変有意義だった」「やや有意義だった」との回答があり、好評でした。「弘前大学で勤務している人にとって、子育てや介護の悩みなどを解消することのできる機会だったと思う」「取得できる制度や権利について知る機会はほぼなく、当事者になって初めて分からなかったことが分かり、良かった。他の職種の方と話ができておもしろかった」等の感想が寄せられました。



## 学生対象研修会「LGBTについて知ろう 話そう 第2弾」を開催しました



1月19日、創立50周年記念会館会議室2において学生対象研修会「LGBTについて知ろう 話そう 第2弾」を開催しました。昨年度に引き続き、加藤悠二先生(NPO法人虹色ダイバーシティ)を講師にお招きし、セクシュアリティの多様性について学び、考える機会を提供するとともに学生の男女共同参画の意識啓発を図ることを目的としたものです。

参加学生は、大学のハラスメント防止規定や学籍簿上の性別や通称名の取扱、LGBTサークル、困りごと(トイレ、さん・くん付け、名簿の在り方、授業で得られる情報等)等について、情報や意見交換を行いました。

15名が参加し、参加者アンケート(回答数13)では、全回答者が「大変参考になった」「参考になった」と答え、好評でした。「残りの学生生活の中で私に何が出来るか考えるよいきっかけになりました」「また機会があれば参加したい」「セクシュアリティについては友人に話しても軽く受け取られがちだが、今日は話せる機会があり嬉しかった」等の感想も寄せられました。

## 女性研究者パネル展を行いました

10月28～29日の第17回弘前大学総合文化祭(会場：創立50周年記念会館ロビー)、11月11日のアピオあおもり秋まつり(会場：青森県男女共同参画センター)、2月11日の第7回市民ボランティア交流まつり(会場：弘前駅前公共施設ヒロロスクエア)において、本学の女性研究者による研究や男女共同参画推進の取組を紹介するパネル・ポスターを展示しました。

3つの企画で計300名近くの方々に足を止めていただき、ご覧になった地域の方々からは「青森県全体で、もっと女性の研究者が増えてほしい。弘前大学でも様々な研究をされている方が多く驚いた」「今まで知らなかったが、女性研究者がこんなに頑張っているんだと嬉しい」「社会の課題の解決にはいろいろな人の視点が必要で、女性研究者の貢献は大きい。女性研究者を目指す人の育成にも期待している」等の感想も寄せられました。



## 北東北国立3大学連携推進会議男女共同参画シンポジウムが開催されました



1月17日、秋田大学地方創生センター2号館大セミナー室において、平成29年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウム「これからもずっと輝き続けるために パートⅡ～多様性を活かす職場環境を考える」が開催されました。本シンポジウムは、平成22年から、弘前大学、秋田大学、岩手大学が毎年持ち回りで開催しているものです。

前半は、文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課の中野理美課長が「男女共同参画推進に向けた大学への期待」と題した特別講演を、京都大学の稲葉カヨ理事・副学長が「男女共同参画推進の現状と課題—京都大学での女性研究者支援を通じて—」と題した基調講演をされました。

後半は、弘前大学、秋田大学、岩手大学から、女性研究者支援の取組も含めて、多様性に関する各大学の取組について報告が行われました。本学の取組については、日景弥生学長特別補佐・男女共同参画推進室長が説明を行いました。続くパネルディスカッション「多様性を活かす職場環境を考える」では、本学の大河原隆理事、秋田大学の近藤克幸理事、岩手大学の菅原悦子理事がパネリストを、秋田大学の山名裕子学長補佐・男女共同参画推進室長がコーディネーターを務められ、多様な構成員の現状に即した特長的な取組や組織のトップが果たす役割等について情報・意見交換が行われました。

最後に、本学の大河原隆理事が次回開催校あいさつをし、閉会しました。

なお、同日、3大学の男女共同参画推進室長による平成29年度北東北大学連携男女共同参画推進連絡会議が開かれ、今後も連携を継続することや平成28年度に3大学の学長が行った「北東北国立3大学男女共同参画推進のための共同宣言2016」に引き続き取り組んでいくこと等が確認されました。(共同宣言全文はこちら<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/3749.html>からご覧ください。)